

平成29年度

訪問リハビリテーション人材育成研修会in中部 (第8回静岡県訪問リハビリテーション実務者研修会)

少子高齢化の波を受け、在宅分野で働く療法士は年々増加しています。そして、平成30年の医療・介護制度の同時改定においても、大きな制度の変化が私たちの働き方を変えようとしています。

今年の研修会のKeywordは「**自立支援 同職種連携 地域資源**」です。

在宅分野に限らず、急性期・回復期でご活躍の療法士の皆さん！日本の未来、職域の拡大、そして存続の為に今、私たちに必要なことを共に考えましょう。

【日 時】 **2017年9月23日(土)・24(日)**

(23日9:50~16:30 24日9:30~16:30)

【場 所】 **静岡県産業経済会館** (静岡市葵区追手町44-1)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

【対 象】 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 他関連職種

【参加費】 **無料**

【定 員】 40名

【主 催】 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

(今年度より地域医療介護確保基金を受託し訪問リハに関わる人材育成事業を実施)



【申し込み】

下記アドレスに必要な情報を送ってください。数日以内に「件名:研修の詳細」というメールを送ります。メールを受信できない場合はご連絡ください。迷惑メール等の受信制限をされている方はご注意ください。お送りいただいた個人情報は、研修会以外の目的では使用いたしません。

- ★情報★ ①氏名(フリガナ) ②職種 ③協会会員番号 ④所属先名
⑤所属先住所 ⑥生年月日 ⑦経験年数
⑧在宅経験年数 ⑨懇親会参加の有無(23日17:30より)

※応募締め切りは平成29年9月16日です。

【参加の特典】

- ・日本理学療法士協会会員:新プロ・C-地域リハ.障害学習・協会主催研修会(20P)
- ・日本作業療法士協会会員:生涯学習・基礎4ポイント
- ・日本言語聴覚士協会会員:生涯学習プログラム1ポイント
- ・当研修会修了後に受講証が発行され「訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP 1~3の受講資格を得ることができ、これにより更に「訪問リハビリテーション管理者研修会」の受講資格を得ることができます。

申 込 み
問 い 合 せ

shizuokahoumonreha@gmail.com

研修会テーマ

「急性期～回復期～生活期～終末期に

求められるリハ職の資質」

1日目

『訪問リハビリテーションを取り巻く制度的背景と求められる役割』

講師：檜木博之氏（身延山大学 仏教学部 福祉学科 准教授）

<資格>	<主な活動>
社会福祉士	健康科学大学 非常勤講師
精神保健福祉士	日本こども福祉専門学校 非常勤講師
主任介護支援専門員	居宅介護支援事業所「まえむきの樹」介護支援専門員 など多岐にわたり活躍

30年改訂の話も
聴けるかも…？！

『訪問リハビリにおけるマネジメントとは？自立支援型マネジメント』

講師：菊池和幸氏（静岡県リハビリテーション専門職団体協議会 事務局長）

『自立支援 症例報告2例』

2025年に向けて求められる生活期
リハビリテーションの形とは？

『地域資源の共有と仕組み作り』

地域資源とは？

マップ作りと共有するための仕組みを考えよう。

2日目

特別講演 『終末期在宅医療における連携 同職種・他職種連携』

講師：須賀昭彦氏（中之郷クリニック 医師）

<略歴>	<資格>
平成4年 3月 筑波大学医学専門学群 卒業	日本緩和医療学会 代議員
6月 筑波大学麻酔科入局。	緩和医療ガイドライン作成委員
平成13年 4月 聖隷三方原病院 ホスピス科	
平成13年 10月 浜松医科大学 麻酔科	
平成14年 9月 静岡県立総合病院 救急科	
平成15年 1月 同上 緩和医療科兼任	
平成19年 4月 同上 緩和医療科専従	
平成21年 4月 静岡済生会総合病院 緩和医療科	
平成29年 4月 現クリニックで在宅 緩和ケアに専従	



『終末期在宅医療におけるリハ職の役割』

『同職種連携事例報告～急性期・回復期・在宅～』

<急性期リハ> 大塚規之氏（理学療法士）

藤枝市立総合病院

<回復期リハ> 吉田昂生氏（理学療法士）

聖稜リハビリテーション病院

<在宅リハ> 神戸理加子氏（理学療法士）

（訪問）

聖稜リハビリテーション病院

2日目は『連携』について
とことん突き詰めます！

特に今年は

『同職種連携』

『訪問リハビリテーションにおける医療介護連携』

講師：梶原幸信氏（伊東市民病院 医療技術部長 作業療法士）